

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		29年度	28年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	22,387	21,980	407	1.9
消防費歳出総額(b)		1,103	1,084	19	1.8
(b)/(a)%		4.9	4.9		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	22,090	21,683	407	1.9
消防費歳出総額(d)		912	886	26	2.9
(d)/(c)%		4.1	4.1		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、九十九里町（7.9%）が最も高く、次いで香取市（7.7%）、酒々井町（7.4%）の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成30年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、鋸南町（41,019円）が最も高く、次いで芝山町（35,156円）、御宿町（32,499円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、芝山町（105,934円）が最も高く、次いで大多喜町（93,157円）、鋸南町（91,972円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		25	26	27	28	29
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	46,169	41,252	42,291	40,662	41,357
住民1人あたり		19,079	17,232	17,867	17,361	17,658
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	38,484	34,230	35,080	33,225	34,192
住民1人あたり		15,903	14,299	14,820	14,186	14,598

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は60%である。

平成29年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

